



学校だより

あいさつ 挨拶は「まほうの言葉」



3年前の学校運営連絡協議会において、ある委員の先生から、「本校の先生方で挨拶をしない先生がいる。」という御指摘をいただきました。また、別の機会には、ある保護者の方から、同じ御指摘をいただきました。このことは、当然、校内で共有をさせていただきました。そして、私自身も、何かできることはないだろうかと考えました。

約2年前から、朝、児童・生徒の皆さんがスクールバスを降りて学校に一步を踏み入れる場所で、児童・生徒、保護者の皆様、スクールバスの運転手・添乗員の方々、そして子供と一緒に挨拶をしている先生方など、分け隔てなく挨拶をはじめることになりました。

ある児童は、当初は、下を向いていました。ただし、挨拶はしっかりできていました。今では、顔を上げて自信をもって、力強く挨拶できるようになりました。他には、先生と一緒に挨拶から、一人で挨拶できる皆さんも増えてきました。その瞬間、担任の先生も喜んで、できたことをたくさんほめて、子供はとても嬉しそうにしていました。

他には、私が不在の日、「どうして（校長は）今日いないの？」と心配をさせていただきました。さらには、「今日、給食の時間、来ますか？」などのコミュニケーションも生まれてきました。

子供同士では、先輩が立派に挨拶している姿を後輩はしっかり見ているように感じています。挨拶は、大きな川の最初の一滴、源流のようです。「まほうの言葉」です。今後も、大人も子供も、分け隔てなく、挨拶から教育活動が充実し、子供の成長の一助になるよう努めてまいります。

「屋外展示装置」の紹介

写真は、令和6年度都立特別支援学校の芸術教育推進事業を活用し、東京藝術大学の先生から御助言をいただき製作した「屋外展示装置」です。

★コンセプトとして、「地域に愛される児童・生徒」などをめざしています。

★そのために、この「装置」の色や素材、展示の配置、観る高さなどの検討を重ね、作品のよさを最大限に引き出す工夫をしました。

★今後、この「装置」をきっかけに、地域と学校のつながりを広げていきたいと考えています。

※ 本校のX（旧Twitter）にも掲載しています。

